

くらしを 守る仕事を 見てみよう

4年生社会科見学

今、4年生の授業では「安全なくらしとまちづくり」について学んでいます。その一環として7月25日(木)に静岡警察本部庁舎。また、9月24日(火)には石田消防署鎌田出張所へ見学に行きました。

静岡警察本部庁舎では、普段見る機会の少ない警察内部に子どもたちは興味津々の様子。本部庁舎の21階には「展望ロビー」があり、静岡市全体を眺めることが出来ます。一般の方も入ることが出来るそうです。13階には普段入ることの出来ない通信指令室(110番センター)があります。子どもたちはガラスにおでこを一杯くっつけ、見慣れない機械やモニターに釘付け。毎日600件もの通報があり、その内容の3割がいたずらや間違った電話だそうです。見学している間にも受理件数は少しずつ増えていきます。その数の多さに子どもたちはびっくりしていました。



消防署にて

1階の「エスピー広場」では交通ルールや自転車の正しい乗り方について学びました。小学生の事故の原因第1位は飛び出しで、夕方に最も多く起

きています。今一度、交通ルールについて見直してみることが大切です。

そして石田消防署鎌田出張所では、事務室や仮眠室など署内を隅々まで見学させていただきました。

火事・救急などの災害時に備えての訓練など、隊員のみなさんの毎日のお仕事についてお話を聞いていたその時、突然の出動命令！

先ほどまで、にこやかに話をしていた消防士さんの顔が一変して真剣な顔つきになりました。

出動命令が出たら2分以内には緊急車両を出動出来るように対処しているとのこと。

この時も、一秒も無駄にしない動きに子どもたちは息をのんでみつめていました。

あつという間に着替えなどの準備を終え、隊員のみなさんは現場へと向かっていきました。

実際に消防車や救急車が出動していく様子を目の当たりにできたのは、とても貴重な体験だったのでではないでしょうか。

2つの見学を通して子どもたちはたくさんの人たちがみんなのくらしを守ってくれていることに気付いたようです。ここで学んだ事を生かし、身近な犯罪や事故から身を守るよう、親子で話し合いたいと思いました。



消防署にて



消防署にて



静岡県警にて



静岡県警にて

おひさまみたいなお
笑顔がギョツと集まった



長田西小学校.PTA広報紙

marico

家庭と学校と地域をむすぶコミュニケーションペーパー

まりこ144号

2013年12月発行

みなさん、 学校での思い出の品 どうしてますか？

子どもたちの成長の記録である作品・テスト等。
様々な思い出の品をみなさんがどのように
保管されているのだろう？という疑問について、
3年生の保護者様を対象に
アンケートにご協力いただきました。

■1年以上保管 ■1年は保管 ■すぐ処分



テスト



保管方法 ●ファイルする ●箱に入れる ●点数の良かったものは保管！



プリント・クラス便り



保管方法 ●プリントは、内容により時期が過ぎたら処分 ●クラス便りはファイル
●子ども別にクリアファイルに入れる ●書類用ケースに入れる
●昨年度の行事などを確認するために保管 ●一年分をホッチキスでまとめる



使い終わった教科書



保管方法 ●本棚に並べる ●勉強机の棚に過去の教科書も教科ごとに並べておく
●箱に入れる ●ダンボールに入れっぱなし
●子どもが自分で管理 ●2〜3年まとめて紐で束ねて保管
●「イチゴの箱」に入れて保管(→イチゴの箱にはA4サイズの物が2列に入りますよ！)
●とりあえず本棚にあるけれど、今後どうしようかと考え中…
●年度末に収納袋(不織布でファスナー付)に入れる

授業での作品(図工・書写など)



保管方法 ●記念写真を撮ってデータで保管 ●写真を撮ってアルバム「作品集」を作る
●出来の良い作品は額に入れて飾る ●学年ごとに大きな袋にいれる
●勉強机に飾る ●子どもに上手に出来たと思う作品を選んでもらって保管
●しばらく飾って壊れたら処分

どの項目も「1年」または「それ以上」保管されてる方が多い事に同感でしたが、「比較的すぐ処分してしまう…」と回答されたお母さんは、保管されてる方が多いということに驚いてました。
クラス便りは1年の終わりに文集としてまとめてくださった先生もいて、とてもいい思い出となりましたよ。
テストなども、数年後に見返した時に子どもの書く文字や考えの成長を実感できたりします。
学校での様々な思い出の品は、子どもにとっても親にとっても、きっと大切な記念の物になりますよね。

あなたのご家庭ではどうされていますか？

学校からのお願い

非常時に知っておいて欲しいこと

- ◎ 非常時には電話が殺到する恐れがあり、回線がパンクしてしまうので、電話での問い合わせは極力避けて下さい。
配布物をしっかり読んで冷静な対応をして下さい。
- ◎ AED(自動体外式除細動器)は玄関ホールにあります。
大人用と子ども用の切り替えができます。
- ◎ 防災用貯水タンクは南門(かめワールド)横にあります。
また「緊急時浄水装置」がプール横に設置されています。
- ◎ 各階には防火シャッターが設置されており、緊急時に作動します。その重さはなんと250kg。
シャッターが降りてきたら絶対に通らないこと。
隣にある扉を通りましょう。

おもしろ発見！



長田西小について、子ども
保護者のみなさんの知
所で今回は、教頭先生
おもしろい場所を取



3F コンピューター室

パソコンがたくさん設置されています。
ノートパソコンを使った授業が行われます。
Macは、校内どこでも使えるように
無線LANが張り巡らされています。

1F 職員室前の壁 GOOD KIDS コーナー

子どもたちの良い行いを先生が
見つけたら放送で紹介してくれます。
紹介された子どもたちの名前が
貼り出されています。



1F 保健室

ケガをしたり、体調が
悪かったりした子どもたちを
赤井先生が優しく診てくれます。
病院みたいに全生徒分の
カルテがあるんですって！



1F 職員室

「失礼しますっ」
入るのにちょっと緊張しちゃう職員室。
先生方が授業の準備やテストの採点、
職員会議を行ったりしています。
実は先生にも当番があって、戸締まり、
施錠の確認、火気の始末、
電気の消灯などを行うそうです。
※夏季はプール当番もあり

AED 進入路マーク



学校探検

私たちは知っていても
知らないことっていっぱい！
の案内で、学校のウラのウラまで、
してきました！

Q.問題
ぼくはどこに
いるので
しょうか！



1F まりこ資料室

丸子の歴史がいっぱいの博物館。
貴重な資料が地域の方の寄付で
たくさん集まりました。

WC

AED 進入路マーク

本の数18,000冊

2F 図書室

図書室って2つあるの知っていました？

第1図書室…読み物、絵本、物語 など

第2図書室…調べる本、図鑑、歴史本、伝記 等

利用者カードと各本にバーコードが付いていて、
それを読み込んで本を借りるシステム。
データはパソコンで管理されているので、
1年生の時から何を借りたか分かるようになっています。
廊下に設置されている本もバーコードが
付いていれば借りることができます。

第1図書室
(2階)

第2図書室
(2階)

WC

WC

玄関ホール

給食コンテナ室 (1階)

小会議室
(1階)

AED 進入路マーク

もつと使って！ 音読カード

音読カードのコメント覧に、
皆さん、どんな事を書いていきます？
サイン？それとも連絡事項？



例えば、1年生では「大きな声で、ゆつくりと、姿勢、間違えない」、6年生では「声の大きさ、速さ、気持ち」がチェック項目になっています。
音読のチェック項目の印(●○△など)を適当に書くと、授業中に音読してつかえた時に、「読めないな」とすぐに先生にバレーしてしまうそうですよ。
また、クラスによっては、週間の終わりにその週の子どもの様子を書く欄があったり、音読カードと子どもの日記が合体した形式のものがあったりします。



夕食時の忙しい時間帯に子どもが「音読」し、適当に「音読カード」に記入する、ということもあるかもしれませんね。
「音読」の時間は、ほんの5〜10分かもしれませんが、「親子の時間の共有」ができる大切な時間です。
そんな風に考えたら「音読の時間がなんだかとても愛しい時間のように思えてきませんか？」
この「音読カード」は、学年やクラスによってオリジナルなものになっているようです。

「音読カード」には「音読」の様子を記入する欄のほかに、保護者のサイン・言葉などを書く欄がありますね。
ただサインをする場合でも、「ハンコではなく手書きのサイン」をお願いします。と言われるクラスもあるそうです。
その欄には、宿題のためだけでなく、連絡帳に書く程のことではない様々な連絡事項を書くこともできます。
例えば、体育の見学を連絡したり、家での子どもの様子を先生に伝えたりすることもできます。
また、子どもの心配事を書くことと、その日の学校での出来事を先生が書いてくれることもあります。
逆に、先生から学校での様子を指摘されてドキッとすることもあります。また、ほめていただくこともあります。
いわゆる、家庭と先生とを結ぶコミュニケーションツールです。
親がどんなコメントを書いたのか、それに対して先生がどんなコメントを書いてくれたのか、子どもも気になってきくと見ているんですよ。
音読カードを活用することによって、子どものことをもっとと知ることができるのではないのでしょうか！
毎日触れるものだからこそ、もつと上手に活用していきたいですね。
たまには、お母さん以外の家族に「音読」を聞いてもらっても楽しいですよ。
※ちなみに、「音読カード」は子どもたちが配布することもあるので、プライベートな相談や大切な事の連絡は「連絡帳」を活用した方がいいですね！

松田先生談

子どもにとって、学習の一番の基本は読む力を身につけるということです。自分声を出し自分の声を聞く「発声」することはとても大切なことで、話す力、書く力をつけることにもつながってきます。「音読」は上手に読むための学習ではなく、繰り返し「発声」することによって、様々な文章を理解していく力を身につけることができる学習でもあるんです。



知ってるようで知らない、給食ができるまで。

シリーズ 食育 #1

「給食センター」 どんなところ?

ニュースで話題になった岐阜県可児市の給食のパンにハエが混入していた問題。

皆さんの記憶にも新しいと思います。

いつも子どもたちが食べている給食。どんな所でどんな風につくられているのでしょう。

なんとなくは分かっているようで、実は「こんな感じかな?」って想像してるだけ…。

百聞は一見にしかず! そんな疑問を解決すべく、子どもたちの給食を作ってくださっている

「静岡市立中吉田給食センター」に行ってきました!



本日のメニューは「中華丼」。それでは調理スタート!! 二重構造になっているこのお鍋。火力ではなく蒸気熱で調理されるそうです。



ここでは市内18校約10,500食の煮炊きをしています。他にも「アレルギー対応食専用の調理室」「和え物室」「焼物・揚げ物室」などにそれぞれ分かれています。



牛乳じゃないよ! なんと水溶き片栗粉。



大量の「うずらの卵」がドーン!



最後の仕上げ。全体をかき回し、量や温度などたくさんのチェック項目をクリアしたら…それぞれの食缶に取分けです。



この日の献立は…中華丼・しゅうまい・リャンパンおいしそ〜!



いつも給食センターと子どもたちの橋渡しをしてくださる「給食補助員」の山根さんと杉山さん。



いよいよ楽しみな給食の時間。それぞれの教室に給食が行き渡りました。



みんなそろって「いただきます」!

残ってしまった給食は、残念だけど「産業廃棄物」になってしまうそうです。

野菜などの下処理はすべて調理当日に行うそうです。めんどくさい皮むきも朝早くから手作業でやっていると聞いてビックリ!! お鍋の大きさや蓋を開けた瞬間にあふれだす大量の湯気は圧巻でした。

今回私たちが訪問した「中吉田給食センター」は誰でも見学ができます(要予約)。

早めの予約なら見学当日の献立が全て試食OK! 「食育講座」や「親子料理教室」が開催されることもあります。毎月みなさんに配られる「献立表」には、献立にまつわる豆知識や各講座の案内など「給食」の情報が盛りだくさんです。要チェック!!

身近なPTA活動

学校生活に欠かせない 学校預り金集金当番



「しっかり渡せているのかな?」と、不安になっている保護者の方もたくさんいらっしゃると思います。保護者の当番の方は、子どもたちが登校する少し前に、お仕事を始めます。鍵を預かり、教室の入り口の鍵を開け、テーブル・椅子を用意し、お金を数える人や名簿をチェックする人など、それぞれ分担し責任をもってお仕事をしています。

「一番は誰だろうね?」「うちの子しっかり持ってきたかな?」と保護者同士の会話がはずむ中、子どもたちが元気に登校して来ます。子どもたちは自分から「おはようございます」と大きな声で挨拶をしていました。保護者も子どもたちに負け

ないくらい笑顔で挨拶に答えていました。そんな風景がとても印象的です。保護者の皆さんは集金袋を子どもに預ける不安があると思います。もちろん子どもたちも大金を持つての登校はとても不安だと思います。それらの不安を少しでも無くす為にも、子どもと一緒にお金を確認する、一緒にカバンやバッグにしまうなど、各ご家庭で保護者と子どもと一緒にチェックをして頂くと良いかもしれませんね。

朝はとても忙しい時間ですが、集金当番は保護者のご協力があって、学校の給食費や諸費用へと納められます。とても大事なお金をもって登校し、どの子も責任をもってしっかり渡す事が出来ています。ぜひ当番の保護者の方は、温かい気持ちで集金袋を受け取ってあげて下さい。そして、これからスムーズな納金にご協力をお願い致します。



6月23日(日)校内でばる〜ん交流会がありました。私も初めて参加しました。バレーボールの経験もなく不安でしたが、みんなで声を掛け合いながら楽しく出来ました。

8月11日(日)には第8ブロックバレーボール大会が本校で行われ、選抜メンバーで出場し5位という結果でした。選手の皆さん・保健体育委員会の皆さん、暑い中お疲れ様でした。

やってみようよ、 学校ボランティア



学校ではさまざまなボランティア活動があります。今年度は、図書ボランティア・花壇ボランティア・ミシンボランティア・読み語りボランティアが活動しています。

●図書ボランティア

新刊準備・本の修理・本の整理・
掲示物作り・しおり作り

●花壇ボランティア

水やり・草取り・植え替えなど
門周りの花壇の整備

●ミシンボランティア

ミシン授業の補助や
学校備品の補修

●読み語りボランティア

月に1~2回、各クラスで
絵本の読み聞かせ

どのボランティアも随時募集中です! 年1回の参加でもOK。図書ボランティア・花壇ボランティアは空いている時間だけ参加も可。読み語りボランティアはご自分の子どものクラスだけでもOK。地域の方の参加も大歓迎です。興味のある方はぜひご連絡を!

〈お問合先〉 図書・花壇・ミシン: 学校応援団コーディネーター 望月恵先生
読み語り: 母親委員長 河原崎満子さん(顧問: 山田知興先生)

* 編集後記 *

子どもの成長と共に増えていくプリントや作品など。どうやって保管しようか悩みの種ですが…今回の「思い出の品アンケート」の結果から、改めて成長を実感出来る大切な物と気付かされました。子どもが書いた文字だけでも、入学当時~6年生までの成長ぶりがわかりますよね。

今まで、子どものノートは処分していましたが、1年に一冊「これは!」という物を残してみようかと思いました。

そんな思い出の品の一つに「広報紙 marico」も仲間入りしていたら、嬉しいです。何年・何十年後にmaricoを見ながら「こんな事があったね。」なんて話題を提供出来る存在でありたいです。

marico135号以降、最新号までのバックナンバーあります。欲しい方はお気軽に広報委員に声をかけてください。

次号もお楽しみに…。